

令和 7 年度事業計画

(2025 年 4 月 1 日－2026 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 72 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 令和 7 年 5 月 21 日 (水) ～23 日 (金)
会 場 : 名古屋国際展示場 (ポートメッセなごや)
会 長 : 長尾 静子 (藤田医科大学)
参加者 : 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (3 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」は下記のとおり発行 (電子配信) する。

発行年月日	巻	号
2025 年 4 月 1 日	74	2
2025 年 7 月 1 日	74	3
2025 年 8 月 1 日	74	Supple (Proceedings of the 72 JALAS Conference)
2025 年 10 月 1 日	74	4
2026 年 1 月 1 日	75	1

IV. 研究の奨励、業績の表彰をする。

(1) 令和 7 年度学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (1 名)

安居院高志 元会員

2) 安東・田嶋賞

該当者なし

3) 奨励賞 (2 名)

中野 野太 会員 (国立国際医療研究センター研究所)

「異種膵島移植のための重度免疫不全マウスを背景とした新規糖尿病モデルマウスの樹立」

坂本 晃海 会員 (実中研)

「実験動物の 3Rs に貢献できる非侵襲的なデバイスの開発」

4) 2024 年 Experimental Animals 最優秀論文賞 (3 編)

- ・ 柊内亮太、木村公一、雑賀 彪、藤井 渉、森田啓行、中西弘毅、水流功春、関澤信一、山内啓太郎、桑原正貴

Ivabradine ameliorates cardiomyopathy progression in a Duchenne muscular dystrophy model rat

「イバブラジンはデュシェンヌ型筋ジストロフィーモデルラットにおける心筋症の進行を抑制する」

- ・ 進導美幸、寺尾美穂、高田修治、一ノ瀬実、松坂恵美、横井 匡、東 範行、水野聖哉、津村秀樹

Establishment and visual analysis of CBA/J-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} and C3H/HeJ-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} mice

「CBA/J-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} マウスと C3H/HeJ-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} マウスの樹立と視覚解析」

- ・ 渡邊正輝、二階堂優子、佐々木宣哉

Validation of the anesthetic effect of a mixture of remimazolam, medetomidine, and butorphanol in three mouse strains

「レミマゾラムベシル塩酸を含むマウス用三種混合バランス麻酔薬の評価」

- (2) 第 72 回日本実験動物学会総会・優秀発表賞の選考及び表彰を行う。
- (3) 令和 8 年度の功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。
- (4) 2025 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。
- (5) 第 75 回日本実験動物学会総会大会長を選出する。

V. 役員（令和 8～9 年度在任）の改選に関わる諸事業

- (1) 会員名簿を作成する。
- (2) 理事候補者を選出する。

VI. 委員会等の活動

下記の委員会を設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報・情報公開検討委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会
- g. 定款・細則・規定等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会

- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度委員会
- k. 外部検証委員会
- l. 人材育成委員会
- m. 将来検討委員会
- n. 動愛法等対策委員会

VII. 動物実験に関する外部検証

「動物実験に関する外部検証事業」を外部検証プログラムに沿って実施する。

VIII. 外部検証のための人材育成

文部科学省のナショナルバイオリソースプロジェクト「外部検証推進のための人材の育成と活用」課題を推進する。

IX. 関連学協会等との連携

- (1) 日本学術会議、生物科学学会連合及び動物実験関係者連絡協議会の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議（ICLAS）及びアジア実験動物学会連合（AFLAS）における活動を継続する。
- (4) 2027 年 AFLAS 総会（11th AFLAS Congress 2027）の日本開催に向けた招致活動を行う。
- (5) 韓国実験動物学会（KALAS）など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (6) 公益財団法人実中研 ICLAS モニタリングセンターや日本動物実験代替法評価センター（JaCVAM）の活動に協力する。

X. その他

- (1) 第 72 回日本実験動物学会総会期間中に学会及び委員会主催のシンポジウムおよびセミナー等を開催する（学術集会委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会）。また、関連学協会との円卓会議、日韓円卓会議および日韓ジョイントシンポジウムを実施する。
- (2) 令和 7 年度維持会員懇談会を開催する（財務特別委員会）。
- (3) 第 13 回実験動物科学シンポジウムを開催する（学術集会委員会）。
- (4) 実験動物管理者等研修会を開催する（実験動物管理者研修制度委員会）。
- (5) 外部検証専門員講習会を開催する（人材育成委員会）。
- (6) 動物実験の外部検証実施準備に向けた説明会を開催する（人材育成委員会）。
- (7) 動物実験や動物福祉・倫理を啓発するポスターを作成・配布する（動物福祉・倫理委

員会)。

以上